

第4回利賀ダム環境検討委員会 議事要旨

開催年月日／会場	議 事	出席委員(敬称略)	議事要旨	
平成19年3月6日 パレプラン高志会館 薫風 (富山市千歳町)	①利賀ダムの工事の進捗について ②前回委員会の指摘事項およびその対応について ③平成18年度補足調査結果について ④既往確認種データの経年及び調査区域ごとの整理について ⑤生態系典型性の環境類型区分の検証及び注目種の抽出について ⑥絶滅危惧種の植物の保全措置の検討について ⑦大気環境、水環境について	阿部 學(日本猛禽類研究機構 理事長) 大串 龍一(金沢大学名誉教授) 小泉 邦雄(富山大学工学部教授) 高倉 盛安(元富山県立大学短期大学部長) 田中 晋 (富山大学名誉教授) 長井 真隆(元富山大学教育学部教授) 湯浅 純孝(富山県自然博物館ねいの里 館長)	平成18年度補足調査結果について	・底生動物調査に関しては、環境指標に用いる等、今後の基礎資料になってくるものであり、重要と考える。このため採集地点の状況(水温・底質等)や採集方法(サーバーネットか採泥器、目合い等)などの記録を残しておくことが重要である。
			生態系典型性の環境類型区分の検証及び注目種の抽出について	・生態系の注目種の抽出に関して、落葉広葉樹林・スギヒノキ植林の注目種としてアオダイショウ、センチコガネ、クロツヤヒラタゴミシを挙げているが、これはあくまでも、調査範囲内での結果であって、もっと低地の草原などで出現する種である。場合によっては調査範囲外の環境を含めた総合的な判断が必要と考える。